

『地獄変』

- 芸術への狂気的な執念
  - 主人公・良秀
    - 誰からも嫌われる存在
    - 作品は誰もが認める傑作
  - 
    地獄変の屏風絵
    - 異様な行動
      - 大蛇を飼う
      - 弟子を鎖で縛る
    - 大殿様からの依頼
    - ⇒画家としての偉大さと心の歪み
- 父と娘の悲劇的な関係
  - 娘
    - 利口で気立てが良く、父思いの優しい性格
    - だれからも可愛がられる人気者
  - 
    New node
  - 地獄変の屏風絵
    - 娘の命と引き換えに完成
  - 良秀の顔
    - 苦悶の表情から「言いようのない輝き」へ
    - ⇒ 芸術への執念と父性愛の激しい葛藤
- 倫理観への問いかけ
  - 
    境界
    - 「芸術の追求」と「人としての道」
    - ・大殿が芸術のために女房を罪人に仕立てる
    - ・良秀は娘を犠牲にしてまで傑作を描き上げる
  - 問い：どちらを優先すべきか？
    - 芸術の価値
    - 人としての道